

「Short Physical Performance Battery で分類した

75 歳以上の高齢心不全患者の特徴」

へのご協力のお願い

このたび、75 歳以上の心不全患者さんにおいて、精神的、身体的、社会的な脆弱を呈するフレイルの評価指標であり、脚の機能を簡便に評価する Short Physical Performance Battery (SPPB) を用いて、心不全患者さんの特徴を明確にする研究を行います。

SPPB は立ち上がり動作、歩く速度、バランスから構成され 12 点満点で評価します。0 から 6 点が低値、7 から 9 点が標準、10 点以上が高値となり点数が高い程脚の機能が良いことを示します。近年では高齢な方の健康寿命の延伸から高齢者の多様化がすすんでおり、同じ年齢の方でも様々な違いがある事が報告されています。

この研究では SPPB を使用して、脚の機能レベル別に観察した心不全患者さんの特徴を明確にする研究を計画いたしましたので、ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。

患者さんへの負担は一切ありません。また、患者さんのプライバシーは漏洩しないように留意いたします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を下記連絡先までお伝え願いたいと存じます。連絡がないことをもって、研究参加にご同意いただいたこととさせていただきます。

1. 対象となる方

2015 年 4 月から 2018 年 12 月までの 4 年の間に急性心不全または慢性心不全の急性増悪の診断で入院された 75 歳以上の患者さん

2. 研究課題名

Short Physical Performance Battery で分類した 75 歳以上の高齢心不全患者の特徴

3. 研究実施機関

山口県立総合医療センター リハビリテーション科 循環器内科
研究責任者：三浦 正和（リハビリテーション科 理学療法士）

4. 協力をお願いする内容

診療録（カルテデータ）から心不全の基礎疾患，年齢，性別，Body Mass Index，世帯，介護保険（介護認定の有無），合併症，心不全の病態・心臓の機能，血液検査値，退院時内服薬，退院時身体機能を調査いたします。

5. 研究実施機関

承認日から 2019 年 10 月 31 日までにデータを解析いたします。

6. プライバシーの保護について

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（平成 28 年法律第 89 号）に則り，個人情報の取り扱いには，十分に配慮いたします。研究対象者の性別，疾患名等の個人情報はすべて匿名化し，研究対象者を特定できる用法を含まないようにします。しかし，後々データ内容に誤記入がないか確認するために，患者さんのデータを記載させていただいた紙媒体を番号化し，データを解析する段階ではその番号と患者さんの個人データが一致するようにします。そのため，紙媒体，及びデータを入力した外付け記録媒体である USB は研究責任である三浦正和が所属する山口県立総合医療センターの施設が可能な個人のロッカーにて厳重に保存いたします。

7. お問い合わせ

この研究について，何かお聞きになりたいこと，心配なことがありましたら，いつでも遠慮なく研究責任者にお尋ねください。

ご希望があれば，他の研究対象者の個人情報保護や当該研究の独創性の確保に支障がない範囲内で，研究計画及び研究方法に関する資料を閲覧することができます。

【研究責任者】

研究参加にご同意をいただけない患者さん及び関係者の皆様からの相談等への対応窓口は以下の通りです。

〒747-8511 山口県防府市大字大崎 10077 山口県立総合医療センター

研究責任者：三浦 正和（リハビリテーション科 理学療法士）

連絡先：0835-22-4411（山口県立総合医療センター）